



芦北町議会だより

うたせ

第69号

令和4年
8月1日発行



吉尾川河川等災害関連工事(吉尾橋上流部吉尾郵便局付近)

(プラスワン)

復興元年+1

前進! 令和2年7月豪雨災害の復旧・復興事業

- 6月定例議会(概要) P 2~3
- 一般質問 P 4~5
- 議案の審議結果 P 6
- 内野小学校6年生議場見学等 P 7
- 常任委員会の閉会中の継続調査 P 8~9
- 議会のうごき・ちよっといづく P 10

6月定例議会

令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策調査特別委員会の設置を可決!!

6月定例議会は、6月14日に招集され、17日までの4日間で開催しました。

上程された議案は、一般会計の繰越明許費繰越計算書などの報告6件、令和4年度一般会計補正予算ほか特別会計補正予算2件、市町村総合事務組合規約の一部改正やあらたに生じた土地の確認についてなど6件、人権擁護委員の推薦の人事案件1件のほか、議員発議による「令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策調査特別委員会」の設置を含めた合計17件があり、いずれも審議の結果、原案のとおり全会一致で可決しました。

14日には、2人の議員が登壇し、町政全般にわたり一般質問を行いました。

（議案の内容と結果は、6ページに、一般質問の内容は4～5ページに掲載）

人権擁護委員に推薦



櫻井 優一 氏
(高岡北)
新 任

人権擁護委員とは

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された民間の方々です。

その活動は、町民の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いや人権侵害の被害者を救済するなど、町民の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。

令和4年度 6月補正予算を可決 15億 483万円を追加

(金額は1万円未満を四捨五入)

会 計 名		補 正 額	補 正 後 の 総 額
一 般 会 計		15億120万円	137億5,620万円
特別会計	国民健康保険事業(事業勘定)	43万円	34億2,043万円
	農業集落排水事業	320万円	4億 620万円
今回補正がなかった会計 (介護保険事業外)			29億6,440万円
合 計			205億4,723万円

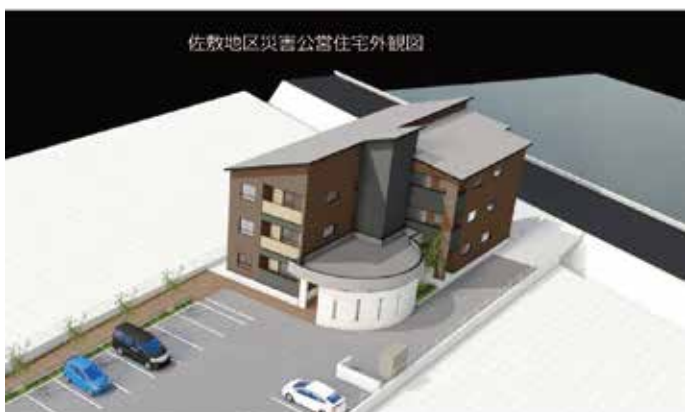
主な事業 ◎一般会計

災害公営住宅建設事業	10億4,290万円
御立岬公園改修事業	5,527万円
地域間交流スポーツグラウンド照明設備改修事業	4,671万円
橋りょう維持事業	4,100万円
住民税非課税世帯等給付金事業	3,429万円
芦北町すまい支援事業	2,500万円
新型コロナウイルス感染症対応水産業振興事業	2,293万円



湯浦地区災害公営住宅

- 建設場所 芦北町大字湯浦
湯浦中学校近く(旧葉たばこ取扱所)
- 構造・階数 木造3階建
- 規模・戸数 2LDK 12戸
- 駐車場 各戸乗用車2台分
- その他 共用部分に9人乗りエレベーターを設置



佐敷地区災害公営住宅

- 建設場所 芦北町大字芦北
芦北警察署横(旧芦北支援学校職員住宅)
- 構造・階数 木造3階建
- 規模・戸数 2LDK 9戸
- 駐車場 各戸乗用車2台分
- その他 共用部分に9人乗りエレベーターを設置

一般質問(要約)

令和2年7月豪雨災害復旧工事の進捗状況等及び防災意識向上への取組は！



楠原清照 議員

(表1)

答弁者	実施主体	項 目		進捗状況	完了見込
答 鎌倉建設課長	国	国道3号佐敷トンネル白岩口復旧工事		完 了 間 近	6月
		球磨川左岸県道(国代行事業)		調 査 設 計 中	未定
		町道川獄線(国代行事業)		調 査 設 計 中	未定
	県	道 路	8 3 件	81件発注済	R5年度末
		河 川	1 9 8 件	101件発注済	R5年度末
		河川(助成)	佐敷川水系	順 次 発 注	R6年度末
		砂 防	8ヶ所	6ヶ所発注済	R6年度末
		急傾斜	3ヶ所	2ヶ所完了	R4年度末
	町	道 路	1 9 1 件	98件発注済	R6年度末
河 川		2 2 9 件	95件発注済	R6年度末	
答 杵農林水産課長	国	治山(国直轄事業)	3 3 件	33件発注済	R4年度末
	県	治 山	2 2 件	7件発注済	(R4～7年度で発注予定)
	町	農 地	1 0 5 件	47件発注済	R6年度末
		農業用施設	6 2 件	31件発注済	(R4年度発注予定)
		林 道	1 8 件	16件発注済	

質
令和4年5月末現在の各種災害復旧工事の進捗状況と完了見込みは。

答
鎌倉建設課長
杵農林水産課長
答弁を表1のとおり整理。

質
令和2年7月豪雨を踏まえ、命を守る避難行動の徹底した習慣化の取組はどうしているのか。

答
松本総務課長

避難行動の習慣化は重要課題であると認識しており、自主防災組織や行政区に対し逃げ遅れゼロを目指す取組(防災計画作成支援、自主避難所の設置、運営への支援など)を進めている。

ふれあいツクルバスの活用促進を！

質
ふれあいツクルバスの路線やダイヤ(時刻表)を見直す考えはないか。

答
白坂企画財政課長

運行経路やダイヤの変更など必要に応じ対応していく。また、今後も交通不便地域の解消を検討するなど、より良い運行形態となるよう取り組む。

持続可能な農業振興を！

質
国が定めた「みどりの食料システム戦略」に本町農政はどう対応していくのか。

答
竹崎町長

本町は条例で農業を中心とした第1次産業を基幹産業と位置付け、行政の取り組み姿勢を明確に示している。

また、国において食料安全保障の観点から自給率向上を図ることが望まれる。

答
杵農林水産課長

本戦略は、2050年までに化学農薬の使用量50%低減、化学肥料の使用量30%低減、有機農業の取組面積を25%へ拡大等を目指すものであり、本町においても本戦略に乗り遅れることなく事業を展開し「生産性」と「持続性」の向上に努める。



百田翔吾 議員

一般質問(要約)

県道二見田浦線の改良工事は どうなっているのか！

(表1・令和4年6月14日現在)

答弁者	県道二見田浦線改良工事		
	市 町	八 代 市 側	芦 北 町 側
答 鎌倉建設課長	道路の延長 (約3.6km)	約1.1km	約2.5km
	工事の状況等	①芦北町側から約50メートル区間の護岸工事 ②事業用地の取得	令和4年度の舗装工事で完了予定
	開 通 時 期	未 定	令和4年8月上旬の予定

質 県道二見田浦線は、八代海に面する風光明媚な芦北町と八代市をつなぐ海岸線であり、狭い道が続く芦北町の井牟田地区、八代市二



八代市側の護岸工事



芦北町側の開通状況(井牟田・棕野地区)

答 鎌倉建設課長
答弁を表1のとおり整理。
見地区間となっている。現在は、普通乗用車であれば通行できるようになっているが、全面開通していない。現在の工事の進捗状況及び全面開通の予定はどうなっているのか。

質 県道二見田浦線の現在の活用状況はどうなっているのか。
答 鎌倉建設課長
一般的な道路利用のほか、八代及び水俣・芦北地域サイクルツーリズム協議会において、道の駅等と連携したサイクリングルートに設定されている。

質 県道二見田浦線の全面開通は、地元住民の長年の悲願である。町民の生命と財産を守るため消防車や救急車等が安全かつ迅速に通行できるように、早期の全面開通に向けた熊本県への働きかけを芦北町として改めて要望してもらいたいがどうか。
答 鎌倉建設課長
熊本県への要望は、今後も引き続き行いたいと考えている。

令和4年 第4回芦北町議会(6月定例議会)審議結果

区 分	議 案	内 容	審議結果
報告第1号	継続費繰越計算書について	地方自治法施行令第145条第1項の規定による報告	—
報告第2号	一般会計の繰越明許費繰越計算書について	地方自治法施行令第146条第2項の規定による報告	—
報告第3号	農業集落排水事業特別会計の繰越明許費繰越計算書について		—
報告第4号	一般会計の事故繰越し繰越計算書について	地方自治法施行令第150条第3項の規定による報告	—
報告第5号	有限会社あしきたマリンサービスの経営状況の報告について	地方自治法第243条の3第2項の規定による報	—
報告第6号	有限会社御立岬の経営状況の報告について		可 決
議案第27号	令和4年度芦北町一般会計補正予算(第1号)	概要等は、P3に掲載	可 決
議案第28号	令和4年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		可 決
議案第29号	令和4年度芦北町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		可 決
議案第30号	熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について	組合に加盟する構成団体の名称変更に伴う改正	可 決
議案第31号	あらたに生じた土地の確認について	・道路改良工事に係る公有水面埋立て約3,888㎡を編入するもの	可 決
議案第32号	字の区域の変更について	・上記に伴う字区域の変更	可 決
議案第33号	町道の路線廃止について	町道の道路改良に伴い、起点を修正する必要が生じたため、現町道を一旦廃止し新たに認定するもの	可 決
議案第34号	町道の路線認定について		可 決
議案第35号	財産の無償貸付けについて	廃校施設を有効活用した円滑な企業誘致に資するため「芦北サテライトオフィス計石」を無償で貸付けるもの	可 決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	概要等は、P2に掲載	適 任
発議第2号	特別委員会の設置に関する決議について	令和2年7月豪雨災害のからの「創造的復興」を図るため、復旧・復興対策事業の進捗状況や諸課題等について調査、検討及び提言を行うことを目的に設置するもの	可 決

内野小学校 6 年生が議場を見学

6月23日、内野小学校6年生16人が、野田校長及び担任の井手先生と一緒に議場の見学等に訪れました。

今回の目的は、町議会の実際の様子を理解し、自分たちの生活とのかかわりに気づき地域や国の政治に関心を高めるためです。

まず、議場を見学し、議員席、町執行部席、一般質問席、傍聴席がどのように配置されているかなどについて議会事務局職員が説明を行いました。

次に、議員控室に移動し、児童からの質問に対し、宮内議長をはじめ、建設経済文教常任委員会の草野委員長・白坂副委員長・寺本修一委員・宮尾委員・寺本順一委員・坂本委員・長口委員が答え、その際、児童と先生は要点を熱心にメモしていました。

芦北町議会では、次代を担う子どもたちの育成に役立つ今回のような見学・質問等にも積極的に対応しますので、希望される学校は事前に議会事務局までご連絡ください。



児童が議員に質問する様子(議員控室)



内野小学校の皆さん18人と議員8人(議場)

主な質問

質 芦北町で最初に決まった条例にはどんなものがありますか。

答 現在の条例をまとめた「芦北町例規集」には条例が223件あり、その中の「芦北町役場の位置に関する条例」などが最初に決まった条例です。

なお、皆さんに関係がある条例は、18才（高校3年生）まで医療費を無料とする「芦北町子ども医療費助成に関する条例」や内野地区にも関係のある「芦北町ほたる保護条例」などたくさんあります。

質 芦北町の予算を決めるときに気を付けていることは何ですか。

答 ①芦北町総合計画などの計画に基づいたものであるのか。②歳入と歳出は、バランスが取れているのか。③少ない経費であっても、しっかりとした効果が出るような計画となっているか。全体的には、芦北町総合計画の基本理念である「すべては次代を担う子どもたちのために」及び「個性輝き活力と魅力にあふれた、安全・安心を実感できる町」の実現に向けた予算になっているかなどに気を付けています。

この他にも、本会議と委員会の違いは何ですか。また、それぞれどんな話し合いをするのですか。などの質問があり、それぞれ議員が丁寧に答えましたので、有意義な学習の時間となりました。

総務厚生常任委員会（閉会中の継続調査）

委員長：林田 耀宏 副委員長：楠原 清照

委員：岡部恵美子・川尻 成美・元山 秀志・百田 翔吾

6月24日、「大関山風力発電建設計画」について調査を実施しました。

この件については、令和3年11月に大関山を守る会から「大関山風力発電建設計画に関する陳情書」が議会に提出されたことを受け、当時の文教厚生常任委員会で、建設予定地の現地調査や既に建設されている自治体の情報収集などを行い審査していましたが、本年3月末で議員任期満了に伴い、審議未了となりました。

このため、議員改選後の4月からは当委員会が「閉会中の継続調査」としており、今回は、事業予定者のジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社の担当者から、これまでの経緯やこれからの計画等について説明を受けました。

なお、当委員会では、今後も「大関山風力発電建設計画」の進捗状況等を把握するため、継続して調査を行います。

【事業予定者】

会社名：ジャパン・リニューアブル・エナジー(株)

所在地：東京都

資本金等：400億円

【風力発電事業計画の概要】

場所：大関山（標高902m）
芦北町・水俣市・球磨村の境界付近

基数：最大15基

高さ：約150m～155m

ブレード(羽根)の回転直径：約120m

出力：最大63,000kw
(約17,000世帯分)



事業予定者(写真右上)からの説明を受ける委員

主な質疑

質 なぜ、大関山一帯で事業の計画をしたのか。

答 国などによる風量調査等の結果に基づき、適地であると判断したためである。

質 今後、地元説明会の開催予定はどうなっているのか。

答 これまで、新型コロナウイルス感染症等の影響により、計画的に開催できなかったが、今後は行政区長等に相談し、積極的に開催したい。

質 地元住民等は、大型の風力発電建設事業により、大関山一帯の自然環境破壊や災害の発生を心配されているが、どのように対応する考えか。

答 風力発電建設事業に伴う各種の影響調査等を行い、その結果を地元住民の皆様などに報告する。十分な説明を行い、理解を求めたい。

今後も、地元住民の皆様をはじめ、芦北町の理解を得たうえで開発事業に取り組む姿勢に変わりはないので、今後も精一杯努力する。

建設経済文教常任委員会（閉会中の継続調査）

委員長：草野 安道 副委員長：白坂 康浩

委員：寺本 修一・宮尾 秀行・寺本 順一・坂本 登・長口 隆

6月23日、今年5月に開所した「芦北サテライトオフィス田浦」の現地調査を実施しました。

まず、商工観光課から施設と事業の概要及び利用状況等について説明があり、その後施設の見学を行いました。

コワーキングスペースでは、今年度（来年3月）までは利用料無料で、お試し期間を設けており、複数回利用するリピーターも出てきている。現在の入居決定企業は2社で、その他にも幅広い業種の企業・個人などから複数の入居に関する問い合わせが入っている状況とのことでした。

また、「芦北町の魅力創造・発信事業」については、地場産業と連携した新商品開発や新しい魅力の創造、インターネット等（ユーチューブ、SNS）を活用して魅力を発信していく事業に取り組んでいく。初年度となる本年は、第一次産業産品や自然、体験型観光などの魅力を発信していく計画であるとの説明がありました。

なお、当委員会では、今後も商工観光振興事業の進捗状況等を把握するため、継続して調査を行います。

「オープンスペース」で概要及び進捗状況説明



芦北サテライトオフィス田浦整備事業概要

田浦支所の2、3階をサテライトオフィス等として改修

【整備内容】

- ・オープンスペース、コワーキングスペース
- ・サテライトオフィス（8ヶ所）、共用会議室（2ヶ所）
- ・多目的イベントスペース
- ・その他トイレ等の共用施設の改修

【事業費】

- ・整備工事費計 94,788,402 円
- ・管理備品一式 7,051,000 円 合計 101,839,402 円

【財源】

地方創生テレワーク交付金 49,758,500 円
地方創生臨時交付金（コロナ対応） 40,000,000 円
熊本県サテライトオフィス等誘致施設整備補助金 5,000,000 円



様々な業種に対応した「オフィス」



「コワーキングスペース」
個人での仕事や学習などの活動拠点として活用

：議会のうごき：

- 6月 7日 水俣・芦北地域振興推進協議会役員会
8日 議会運営委員会
10日 全員協議会
14日 6月定例議会(一般質問)
17日 6月定例議会(議案審議)
23日 内野小学校6年生議場見学等建設経済文教常任委員会
24日 総務厚生常任委員会
27日 南九州西回り自動車道早期実現期成会・役員通常総会
- 7月 11日 水俣・芦北地域振興推進委員会と水俣・芦北地域振興推進協議会との意見交換会
13日 水俣芦北広域行政事務組合議会臨時会
14日 川辺川ダム建設促進協議会総会三期成会合同定期総会
15日 南九州西回り自動車道建設促進期成会総会議会広報委員会
24日 令和2年7月豪雨犠牲者追悼式
27日 熊本県町村議会議長会(常任委員長・議会運営委員長研修会)

令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策調査特別委員会を設置しました。

特別委員会設置の目的は、令和2年7月豪雨で失われた日常を取り戻し、次世代に繋いでいく「創造的復興」を図るため、復旧・復興対策事業の進捗状況や諸課題等について調査、検討及び提言を行うためです。(委員定数7人)

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員
宮尾	楠原	寺本	川尻	坂本	林田	長口
秀行	清照	修一	成美	登	耀宏	隆

【議会用語の解説】

特別委員会とは、特定の事件を調査・審査するために、必要に応じて議会の議決により設置される委員会です。

次の議会は9月上旬の
予定です!!

議会の会議録は、芦北町ホームページに掲載しております。

議会広報委員会

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員
楠原	長口	川尻	宮尾	寺本	林田	長口
清照	成美	耀宏	順一	行	宏	隆

多くの犠牲者を出し甚大な被害が発生した令和2年7月豪雨から、早くも2年が経過しました。芦北町は、災害からの復旧・復興を加速化するため、令和4年度を「復興元年+1」と位置づけ創造的復興を着実に進める予算を組み執行しています。

議会では、本年6月定例議会では令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策調査特別委員会が設置されました。私もその委員に選任されたので、一日も早い復旧・復興の実現に向け、皆さんと知恵を出し力を合わせて、頑張ります。

(長口 隆)

